

令和 6 年度 指定管理者モニタリングレポート

施 設 名	鹿屋市串良B&G海洋センター外 2 施設
所 在 地	鹿屋市串良町有里2918番地1外
指定管理者	名 称： <u>有限会社 アイコー</u> 代表者： <u>代表取締役 坂元 天地男</u> 住 所： <u>鹿屋市串良町細山田5280番地12</u> 連絡先： <u>0994-62-4152</u>
モニタリングの 実施経過	●書類審査（月例及び年度報告書） ●現地調査 ●ヒアリング調査
担当部課 （問合せ先）	市民生活部 市民スポーツ課 電話0994-31-1139 内線3591

【モニタリングの総合評価】

全体的に、良好な管理、運営を行っており、条例に則し、適正で公平な利用受付及び許可が行われている。

施設の利用状況については、定期的に利用される方や新規の利用者が増え、利用者数及び利用料金ともに増加した。

また、元旦イベントなどの自主事業を行い、施設の利用促進に努めている。

施設の安全対策については、消防訓練や救急救命講習の受講、緊急連絡網の作成、職員への指導等を通して、利用者が安心して施設を活用できるよう日頃備え、また、清掃作業のほか、花壇の手入れなど施設の環境美化にも努めている。

【今後の業務改善に向けた考え方】

《指定管理者が実施・検討する事項》

- ・施設の老朽化に伴う不良個所の早期発見と事故防止に努める。
- ・更なる利用促進のための取組。

《施設所管課が実施・検討する事項》

- ・老朽化した施設の計画的な改修等を検討する。
- ・スポーツ人口拡充に向けた取組。

(1)基本的な考え方（施設の性格・目的等との合致、市民の平等な利用の確保、施設の効用発揮）

①合目的性・公平性・効果性

○B & G プール及び大塚山公園については利用者が減少しているが、体育館については、利用者数及び利用料金は、前年度を上回っている。

施設	令和 6 年度		令和 5 年度	
	利用者数	利用料金	利用者数	利用料金
B & G 体育館	31, 006	720, 270	29, 357	748, 070
B & G プール	1, 184	72, 350	1, 538	95, 700
大塚山公園	8, 393	0	13, 191	1, 070
合 計	40, 583	792, 620	44, 086	844, 840

○施設の予約、利用は公平で適切に行われている。

○各種自主事業の実施等により、利用者増加の取り組みを行っている。

(2)業務内容

①機能性・独創性（事業への具体的な取り組み方）

○清掃点検は毎日実施しており、施設環境整備に努めている。

○プール利用時期は清掃及び水質検査・報告を毎日行っている。また、監視員による監視の徹底を行っており、安全なプール管理に努めている。

②責任性・実行性（施設の運営体制や組織）

○ミーティングを週に 1 回実施しており、職員だけでなく、パートの方や作業員にしっかりと情報共有を図っている。

○利用者アンケート箱を設置しており、利用者からの要望等、柔軟に対応している。

③明瞭性・規律性（適正な事務や経理）

○個人情報記載の書類は施錠ができる場所で管理し、廃棄文書はシュレッダー処理を行うなど、適正な処理を行っている。

④安全性（安全管理・緊急時等の対応）

○防災設備については点検を月に 1 回、講習会を年に 2 回実施している。

○計画的に点検・修繕を行い、施設の安全管理に努めている。

⑤社会性（環境等への配慮）

○環境への配慮として、照明を L E D にし、C O 2 の削減に取り組んでおり、また、節電・節水、施設周辺の美化活動を実施している。

(3)事業収支

①経済性

○月例報告及び年度報告書から、管理経費は効率的、効果的に使用していると評価できる。また、経理については、税理士が確認をし、適正に運用されている。

○軽微な修繕は指定管理者で実施し、経費の削減に努めている。

(4)団体の経営状態

①経営の健全性

○財務諸表等会計関係書類及び過去の実績から、経営については問題ないと判断する。

施 設 概 要 調 書

1 施設の概要

施 設 名	鹿屋市串良B&G海洋センター 外 2 施設		所 管 課：市民スポーツ課 都市政策課
所 在 地	鹿屋市串良町有里2918番地1外		設置年月日：昭和58年度
設 置 目 的	市民の健康増進及び青少年の健全育成		
設置の根拠 (法令、条例等)	鹿屋市串良大塚山青少年の森条例、鹿屋市串良B&G海洋センター条例		
施設の概要	設備の概要	敷地面積	95,563.72㎡
		延床面積	2,328.7㎡
		《有料》条例に基づき、使用料を徴収	
	事業概要	(1) 施設の維持管理業務 (2) 施設の使用許可利用料金の領収及び免除	

2 経営分析評価指標

①事業収支	0円	④外部委託費比率	1.9%
②利用料金比率	3.0%	⑤利用者あたり管理運営コスト	655.1円/一人
③人件費比率	39.4%	⑥利用者あたり自治体負担コスト	308.8円/一人

※ 少数点第 2 位四捨五入

3 運営状況

項目	実施計画（事業計画書より）	実施内容（実績）
開館日数	289日	286日 ※台風接近に伴う臨時休館 （8月27日、28日、29日）
開館時間	プール施設等 午前9時～午後8時 体育館・青少年の森 午後9時～午後10時	プール施設等 午前9時～午後8時 体育館・青少年の森 午後9時～午後10時
事業開催		・プールイベント ・初日の出イベント

4 利用実績

項目	実施計画（事業計画書より）	実施内容（実績）
貸し室等 利用回数	海洋センター	1,013
	プール	67
	研修棟	578
	計	1,658
施設利用 人数	海洋センター	31,006
	プール	1,184
	研修棟	8,393
	計	40,583

5 事業収支

(単位：千円)

項目		実施計画 (事業計画書より)	実施内容 (実績)
貸し室等利 用収入	海洋センター		720
	プール		72
	研修棟		0
	計	549	792
その他料金収入			
自主事業収入			
指定管理料		12, 532	12, 532
その他収入		20	25
前年度繰越		1	1
収入計 (A)		13, 102	13, 350
事業費			
人件費		10, 450	10, 486
修繕費		400	469
通信運搬費			
施設管理費			
印刷製本費			
光熱水費		862	606
委託料		490	517
保険料			
租税			
事務費			
管理費		900	986
その他			286
納付金			
支出計 (B)		13, 102	13, 350
収支 (A) - (B)		0	0

指定管理者自己評価表

令和 7 年 5 月 22 日

指定管理者 (有) アイコー

施 設 名 串良 B & G 海洋センター外 2 施設

確認事項		自己評価
履行確認	1 協定書、仕様書及び事業計画書に基づいた管理運営を行っているか	3・2・1
執行体制	2 人員の配置が適切であるか	3・2・1
	3 従業員に対し、業務に必要な研修や教育を適切に行っているか	3・2・1
	4 就業規則等を遵守し、雇用者の労働環境を確保しているか	3・2・1
	5 個人情報の取扱いは適切に行っているか	3・2・1
安全対策	6 危険箇所の把握及び点検を行い、利用者等の安全安心に努めているか	3・2・1
	7 防犯、防災対策等の危機管理体制は適切であるか（緊急連絡網や初動対応要領の作成等）	3・2・1
サービスの質	8 親切丁寧な接客に努めているか	3・2・1
	9 利用者からの苦情等に対し適切に対応しているか	3・2・1
	10 特定の者に有利又は不利な取扱いをしていないか	3・2・1
	11 サービス向上及び利用促進のための取組を行っているか	3・2・1
報告事項	12 利用者の満足度調査（聞き取りを含む）等を行っているか	3・2・1
	13 施設の破損及び異常について、速やかに対応し、市へ報告しているか	3・2・1
経営状況	14 利用者数や稼働率等は適切な水準であるか	3・2・1
	15 事業収支は妥当であるか	3・2・1
総合評価 (所感)	利用者の皆さんが気持ちよく利用できるようにスタッフ全員でのミーティングを都度おこなっている。 老朽化を如何にして安全で清潔に利用できるように工夫しています。	

【自己評価の採点基準】「3」…優 「2」…良 「1」…可

※ 総合評価（所感）の欄には、年間を通した指定管理業務において評価できる点や改善点・反省点を踏まえた所感を記載すること。